AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA
THE Y'S MEN'S CLUB OF
KYOTO
Bulletin
NO.823
2016, 6
68th
CHARTERED 1947
CLUB OFFICE / KYOTO YMCA :Yanaginobanba,Sanjo,Nakagyo-ku,Kyoto 604-8083 Japan Phone(075)231-4388 http://www.kyotoys.com/

2015～2016年度 主題

国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)
Theme : "Mission with Faith" 主題『信念のあるミッション(使命・目標)』
Slogan : "Count Your Blessing" 標語 「恵みを数えよう」
アジア地域会長(AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)
Theme "Through Love, Serve" 主題『愛をもって奉仕をしよう』
Slogan "Let it Begin with Me." 標語 「まず自分から始めよう」
西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)
主題:『あなたならできる!きっとできる』 "You can do it! Yes you can!"
副題:—生きる しなやかに さわやかに— "Live flexibly and refreshingly"
京都部部長(DG) 高田 敏尚(京都)
主題『いつも喜んでいなさい』 "Be joyful always"

強調月間
評価・計画 の月

会長	合田 太一
副会長	田中 孝明
	大田 龍二
書記	相原 隆幸
	西村 博一
会計	中村 泰之

京都ワイズメンズクラブ 第６８代会長 合田 太一

"Reborn" 『生まれ変わる、未来のために』

一緒に闘う

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。
(イザヤ四一・一〇)

映画『ウルトラマンX～きたぞ!われらのウルトラマン』から

数ある巨大ヒーローの原点、ウルトラマンです。誕生から五〇年以上経っても新作が作られ続け、子供たちを魅了しています。

ウルトラマンの魅力は、その人間臭さでしょう。ビルを見下ろし、恐ろしい怪獣と取っ組み合うほどの巨大な体を持ちながら、闘いの中で疲れ、傷つき(カラータイマーが赤く点滅!)、人々を守るために心を配り、時には悩み苦しみます。無表情な銀色のマスクの下に豊かな表情を読みとれます。子供たちは闘うウルトラマンの中に、自分と同じものを感じ、「頑張れ、ウルトラマン!」と応援するのでしょう。

ウルトラマンには本質的に、大きな課題があります。それは、「ウルトラマンさえ居れば、人間の努力は必要ないのではないか」というものです。地球防衛隊が怪獣と懸命に闘っても、ピンチになればウルトラマンが来てくれる。ならば防衛隊は不要じゃないか?その疑問は尤もです。けれどもその考えは間違っているのです。人間の真摯な思いと行動に応えてくれるのがウルトラマンなのです。ウルトラマンと人間は、「助ける側とされる側」の関係ではなく、共に力づけ合う関係なのです。小さな人間が巨大な怪獣に懸命に闘う姿に、ウルトラマンが突き動かされ、傷つきながらも諦めずに闘うウルトラマンの姿に、人間が勇気づけられるのです。

神様は全知全能、この上なく偉大な神様です。このような神様が、私達一人ひとりの側に居てくださり、共に歩んでくださるのです。イエス様は、私達に「わたしに従いなさい」と語りかけ、イエス様と共に歩むことを求めておられます。イエス様が一方的に奇跡をなさるだけであるなら、イエス様と私達との関係は薄っぺらいものになることでしょう。私達が、イエス様に信頼し、歩みを始め、愛し合い、支え合い、世界の平和のために祈り、希望を語るとき、イエス様はより深い意味で「われらの救い主」になってくださるのです。

シリーズ《聖書を飛び出したイエス様》より
日本聖公会 京都聖マリア教会 司祭 ミカエル 藤原健久

５月例会出席者及び出席率 在籍者３２名
例会出席者２７名 ゲスト１名 ビジター１名
メークアップ１名 ５月出席率→８４．４%
４月最終出席率 メークアップ後確定→８６．７%

ニコニコ	
5月分	5,000円
累計	80,300円

クラブファンド	
5月分	21,383円
累計	743,663円

4月30日(土)

Y(Y's)Y(YMCA)Y(Youth)フォーラム

持続可能な社会をつくるためわたしたちがつながってできることは？

ＹＹＹはＹ's、ＹＭＣＡ、Youthの頭文字です。その名前のとおりＹＭＣＡのメンバーが揃い、それぞれを理解する場で、野外リーダーやサポートプログラムのリーダーに若手職員、国際ボランティア会やＶＯＬＡＴＺ、学生ＹＭＣＡの若者達で３０数名。そしてワイズメンが３０数名。総勢６０数名が４月３０日(土)の午後２時、マナホールに集まりました。

講師は京都プリンスワイズメンズクラブの宇高ワイズで、その経歴はこのテーマにピッタリです。高校の頃から深泥池で水質を調べ、大学ではＹＭＣＡの野外リーダーをしながら自然環境を考え、民間企業に勤めたあと京都市職員として地球温暖化防止京都会議（ＣＯＰ３）を担当されました。

フォーラムは９人程度のチームに分かれ環境に関連する自由なテーマを取り上げ話し合った後、テーブル毎に発表しました。私のテーブルでは「ゴミの分別」がテーマに上がり市町村や各国の事情など気づきの多いディスカッションになりました。

リーダーが私達の世代に対しても、ひかえめながら一言ひとこと伝えようとしていた姿は新鮮で、同じ屋根の下にいながら、普段ゆっくり話すことのない職員の方達やサポートプログラムのリーダーの皆さんとも一緒に過ごせたひと時でした。

宇高氏による全体まとめの後、軽食も出て和気藹々の雰囲気の中、出席した各グループが普段の活動紹介をし、高田部長もリーダー達にワイズメンズクラブをわかりやすく説明し、リーダー卒業後のワイズ入会を勧誘されました。

西日本区から、予定を変更して参加くださった遠藤理事、山田事務局長も最後までお付き合いいただきました。ありがとうございました。

若葉に燃える皐月例会

5月10日(火)

入会式×理事訪問×新任主事×風水のお勉強・・・

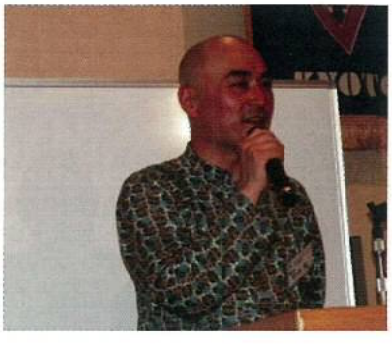
ゴールデンウィーク明け、葵祭を目前にした５月例会は、そんなムンムンする新緑に負けない充実した内容。

まずは入会式。京都に生まれて京都を出たことが無いと自慢するホンモノの京都人・福井ワイズ。それもそのはず舞扇の老舗のご当主で、どうやら京都クラブの大看板の一人になりそう。

続いて、神崎総主事から担当主事のバトンを受け継いだ村上徳光主事の紹介。舞鶴を担当されているので、今夜は京都の隠れ家に泊まるとのこと（これはナイショ）。

そして、昨年還暦を迎えたのでと真っ赤なブレザー姿の遠藤西日本区理事。“熊本大地震はこれまでと違って横からのお手伝いではない。Ｙとワイズが現場のど真ん中で働いている。Ｙが管理者に指定されている体育館やセンターが長期的な大型避難所になっているので、ＹＭＣＡは全国ネットでサポート活動を展開。１０クラブ・会員数二百数十名のワイズには、メンバーに医療機関や福祉施設関係者が５０名近くもおられ、被災した自宅を気遣いながらも救援・支援に注力。このような状況を知って貰い応援の手を差し伸べて欲しい”と強くアピール。これに応えて、席上で回した募金箱にクラブからの献金を加えて遠藤理事に託した。

本題は“風水のお話”。昨年の例会で台湾茶や高山ウーロン茶の話をして下さった京都亮茶房・竹内亮さんの、もう一つの顔はなんと中国や台湾で修行を積まれた風水師。“＜風水＞はいわゆる占いではなくアジア世界に共通の哲学。＜一・命＞生命は与えられたもので変えることは出来ない。＜二・運＞人生で出会う様々な出会いもまた避けることの出来ない巡り合わせ。＜三・風水＞は避けることの出来ないそんな命や運を乗り越えるためのもの。そのためには＜四・日頃から功徳を積み＞、＜五・読書や勉強に励む＞ことが大事。そんな日頃の生き様は、生活環境からも微妙に影響を受けるし、人間関係や健康、着ているものや顔つきに表れる。そういったことを判断して人生に指針を与えるのが＜風水＞であると話された。ちなみに風水では、赤い色は火を表し何ものにも汚されないラッキーな色とのこと。遠藤理事、良かったですね～ぇ！



おいしさを満載して明石海峡を渡って来た淡路の新タマネギ達

重くて量がさばけなくなってきたじゃがいもに代わる新ファンドになるよう育てたいと考えて、数年前のファンド委員長時に取り組みを始めた淡路の新玉ねぎファンド。ブランド力があって、おいしくて、使い易くて、ある程度保存がきき、奈良元メンバーを通じて直接に生産農家から安価で仕入れることが出来るという条件を満たすファンド。じゃがいもの販売ルートを使って皆さんが大きく育てて行かれることを願って数年ぶりに出しゃばりました。

ゴールデンウィーク明けの５月７日（土）５時半起床。タマネギ５０箱を積みやすいように調達した１ＢＯＸバンタイプのミッッション車を仁ちゃんに運転してもらって朝７時に出発。１０時半頃には奈良さんと落ち合ってタマネギ農家・勢造さんのタマネギ畑に行きました。

作業場でタマネギを積み込み、奈良さんと京都クラブの話などしましたが、今でも京都クラブのメーリングリストでメールを見ておられるそうで、クラブのいろんな事をリアルタイムでご存じでした。

１１時半頃にはタマネギ達は明石海峡を渡り一路京都へ。途中のＰＡで簡単な昼食を済ませ、京都に戻る途中で直ちに南方から配達を開始しました。北方の分数個の配達は佐々木Ｙ’ｓに託すことにして、ほぼ配り終えたのが３時半でした。

今回、私は助手席に乗っていただけで、運転から積み込み,配達まですべて１人でやってくれた仁ちゃんに最後に確認しました。

「７月再入会は大丈夫やね？」「ハイ、大丈夫です。」

皆さん、頼もしいメンバーが京都クラブに帰ってきます。

第12回 京都ＹＭＣＡインターナショナル・チャリティーランｉｎかもがわ

５月２２日（日曜日）の午前８時、鴨川公園の会場に到着したが、既にテントは張られていた。公益社さんにお願いしたテント以外のＹＭＣＡのテント張りには、事前の呼び掛けの効果もあって多くのワイズメンが参加していた。今年は公園を管理している土木事務所の指導もありテントの数が例年より減少したようです。

朝は涼しかったが、快晴に恵まれ、開会の頃には気温はどんどん上がり、我々高齢になってきた者には堪える。しかし参加する子供たちは、準備運動か競争をしているのかわからないくらいに走りまわっている。

障がいのある子どもたちも、そうでない子どもたちも、共に幸せに生きていける社会をめざす運動として始まり、集まった募金はＹＭＣＡの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムなどの支援金に用途を限定されている。今年で１２回を数えるこの大会も、多くの運営委員が準備を整え当日の段取りもスムーズに進んでいった。

クォーターマラソンはさすが日頃から訓練をしているのか走る姿が違う。また小学生駅伝や一般駅伝は、指導者の下で練習を積んできている子供たちの走る姿勢が良い。将来はオリンピックにも出るような子供もいるのだろうか、楽しみである。一方、グループランは思い思いのコスチューム姿や、走るというより演技を見せる姿で、いつになったらゴールできるのかわからないチームが殆どで、楽しませてもらった。ＹＭＣＡの学生チームだと思うゴレンジャーも暑い中、最後まで子供たちの熱い応援に応えながら完走していた。競技が終わり、沿道監視の役目を終えて屋台のテントに向かったが、京都クラブのハンバーガーはもちろん食べ物は殆ど残っていなかった。テントが少ないのは、屋台も少なかったためのようだ。お腹も空いたが、飲み物もなくなって喉はカラカラ。

表彰式も終わり、いよいよ大抽選会。合田会長がゲットしてコメット二人は大喜び。佐々木さん、石川さん、西村さんも当たるなど好成績です。閉会式では、多くいたワイズメンの姿も少なくなり、後片付けにはリーダー達の若い姿が目立っていた。午後３時半にテントの撤収が終わり、実行委員の数名と一緒に今年も大変お世話になった公益社さんの車を見送って、京都クラブの作業も終了した。

新入会員のプロフィール

氏　　名：福井善基（ふくい よしき）
生年月日：１９４３年２月１６日
メネット：福井博子
職　　業：扇製造販売
趣　　味：囲碁、登山
資　　格：伝統工芸士
その他　：京都市稚松消防分団副分団長
　　京都趣味登山会会員
住　　所：〒600-8184
　　京都市下京区上珠数屋町東洞院東入ル天神町
電話・携帯：必要な方は書記にお尋ねください
メルアド：必要な方は書記にお尋ねください

YMCA NEWS

1. 熊本地震緊急支援募金にご協力ください。

4月14日から熊本地方で起きている連続地震により、依然として多くの方々が避難生活を余儀なくされています。京都YMCAは全国のYMCAと協力し、熊本YMCAを通じた支援のための緊急支援募金を行っております。

受付期間:2016年6月30日(木)まで
募金方法:京都YMCAの窓口にお届けいただくか、以下にご送金ください。
≪郵便振替≫ 01050−7−19132
加入者名: 京都YMCA 奉仕活動基金
※通信欄に「熊本支援」とお書きください。
≪京都銀行≫ 京都銀行本店(普通)5183732
口座名義: 公益財団法人 京都YMCA熊本震災募金 代表理事 神崎清一(カンザイ)キョウトワイエムシーエー クマモトシンサイボキン
※寄付金控除のための領収書をご希望の方は、「住所」「氏名」「振込日」をkyoto@ymcajapan.org までお送りいただくか、京都YMCAまでお電話ください。

熊本地震・被災YMCA支援募金のお願い

今回の地震では、熊本YMCA自体も被災しており、YMCAの建物に損傷が出て一部使えないところがあるほか、地震直後から通常の事業が再開できずに熊本YMCA自体の運営にも大きな影響が出ています。そのような中で被災者支援がスタッフによって行われています。そこで全国のYMCAでは、熊本YMCAを支えるための募金も併せて募集しています。

被災YMCA支援募金にご協力いただける方は、受付でその旨申し出ていただくか、上記の郵便振替の口座(京都銀行は被災者支援のみ受け付けます。)にお振込みいただき、通信欄に「被災YMCA支援」とお書きください。よろしくお願いいたします。

2. 会員オリエンテーション

京都YMCAに入会して1年以上の方で、定款に定められた目的に賛同し、維持会員Bとなる志のある方は、ぜひご参加ください。

日 時:2016年6月13日(月) 19時00分〜
場 所:京都YMCA三条本館 201号室
内 容:京都YMCAの使命、日本YMCA基本原則について/京都YMCAの組織と事業について、会員活動について
お申込み:申込書に必要事項をご記入のうえ、6月6日(月)までにYMCA受付またはFAX 、E-mailにてお申込みください。

3. 2016年度会員協議会

公益財団法人京都YMCA第5回会員協議会を開催いたします。
多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

日 時:2016年6月24日(金) 19時00分〜
場 所:京都YMCA三条本館 地階マナホール

YMCA

4月30日(土) もう一つのYYY
京都YMCA国際ボランティア会

４月３０日の土曜日に、京都ＹＭＣＡに所属しているボランティア団体やリーダー会のユース達とワイズメンズクラブの方々との交流を目的としたＹＹＹフォーラムに参加しました。

このイベントでは、今回は「環境問題」についてグループに分かれて議論を展開しました。私たちが日々を過ごす中で出る生活排水の問題やゴミ問題など、多くの論点から皆さんの意見を展開していきました。

私たちが、何気なく生活している間も、環境は汚染され、地球温暖化などの大きな問題に発展していくと感じました。未来ある子供達のために、環境問題は今後の大きな課題であることを認識させられました。

最後に、このような機会を設けていただいた主催者の方に感謝しています。野外ボランティアや大学ＹＭＣＡ、ワイズメンズクラブの方々とも交流でき、有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

役員会報告

2015-2016年度 5月 役員会
5月6日(金)17:30〜於 三条YMCA
出席役員 : 9名 欠席役員 :8名

<議案>

一、森Ysの退会について
森Ysより第二火曜の例会出席が不可になったため退会の申し入れあり。合田会長及び田中副会長が森Ysに連絡し、例会に出席できない事情を確認。申し出の通り6月末で退会。

二、京都クラブ設立70周年記念事業について
次々期70期に記念事業を実施する。事業内容については、実行(準備)委員会で検討。準備委員会のメンバーは、次期会長、次々期会長が協議のうえ、次回役員会(6/7)までに推薦する。委員会メンバーの中から委員長を決める。

三、西日本区次々期理事の選出について
京都クラブとしては推薦しない。

四、ワイズルートでの熊本地震被災者への支援金について
CS予算から3万円プラス5月例会にてメンバーに募金する。

五、舞鶴ワイズメンズクラブメンバー予定者の例会参加について
5月例会に参加可能の返事をする。

以上承認

<会長・三役会報告事項>

①ファンド事業の引継の状況
杉本前委員長から田中副会長及び中村後任委員長に引き継ぎ終了

②事業報告について
イ 西日本区への報告(4/11提出済)
ロ 期末の報告書作成のお願い(提出期限6/10)
メールにて書記宛に提出のこと。なお、事業概要及び事業会計を分けて記載するのかどうはか各委員会にお任せする。

③西日本区大会登録費用の振込と集金
西日本区には登録費用は会計から振込済み。参加登録者に21000円他の振込を依頼している。

<各事業委員長報告>—次回委員会日程は別紙日程表に記載—

Yサ・ユース:4/17の夜桜フェスタでは「肉まん」120食の支援。
5/22のチャリティーランでは、審判の交代要員が必要であるため多くのメンバーの参加をお願いする。

地域奉仕・環境:4/24の京野菜マルシェは3時過ぎに完売した。今後は桂高校とのつながり、発達障害への支援、チャームの支援等、京都クラブの事業として継続する。

ドライバー:5月例会は風水の竹内先生にお願いし、講師例会となる。
福井さんの入会式を行う。
遠藤西日本区理事が出席しご挨拶していただける。

EMC:4月の野外例会は多くのメンバーに参加していただいた。

交 流:なし

広 報:4月例会の写真や5月号のブリテンをホームページにUP。

ファンド:淡路の新玉ねぎは5/7実施予定。アスパラは調整中。

ブリテン:5月8日に印刷が完成し、5月例会で配布する。

文献保存:なし

＊次回役員会:6月7日(火)19:30〜21:00 三条YMCA

(6月の予定)

7日(火)役員会((新現合同)	19:30〜三条Y
12日(日)京都部評議会	10:00〜ハートンホテル京都
18日(土)引継例会	18:30〜ホテル日航プリンセス京都
24日(金)京都YMCA会員協議会	19:00〜三条Yマナホール
25日(土)西日本区大会	13:00〜松下 IMPホール
26日(日)西日本区大会	8:15〜松下 IMPホール

(7月の予定)

3日(日)リトセン夏季準備ワーク	9:30〜リトリートセンター
3日(日)サバエ開設ワーク	9:00〜サバエキャンプ場
5日(火)定期総会及び役員会	19:00〜三条Y
10日(日)サバエ開設ワークNo.2	9:00〜サバエキャンプ場
12日(火)キックオフ例会	19:00〜ホテル日航プリンセス京都
16日(土)祇園祭宵山夜店	16:00〜三条Y駐輪場

京都クラブのブリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、最近印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げることに成功しました(年間予算10万円)。このブリテンは京都クラブのホームページ http://www.kyotoys.com/ では月初にご覧いただけます。 このブリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などを
Email : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp
ブリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしています。